安威川ダム　第７４回岩盤判定会議　議事要旨

日　　時：令和２年１月３０日（木）　１４：００～１６：００
場　　所：安威川ダムJV事務所　会議室
出 席 者：別紙「出席者一覧」のとおり
資　　料：第７４回 岩盤判定会議資料 (別冊資料含む)
検査対象：＜地盤検査＞
　　コア、フィルター敷き河床部：No.12+13～No.15+6
　　ロック敷き河床部　　：No.14+19～No.15+11、DC+29～DC+49
　　右岸上流部　　：No.2+14～No.8+1、DC-31～DC-121

主な指摘事項（地盤検査の記録に掲載するもの）

- 一部で見られた亀裂箇所については、亀裂をコンクリート等で充填するか、ブレーカー等で盛立ができる程度に岩盤の整形を行うこと。
- 孔埋めされていないボーリング孔等はコンクリート等で孔埋めを行うこと。
- 一部で見られた浮石や根、堆積土砂については盛立前に除去すること。

概　　要

〇前回議事要旨および是正報告資料に関する指摘事項
特になし。

〇資料に関する指摘事項
- 資料では、ボーリング孔（B-50孔）からの湧水の記録がなされていたが、現場ではすでに孔埋めがなされており湧水がおさまっていた。
  資料の処理対応について「孔埋めを行うことで盛立に影響しない。」といった内容に修正すること。

〇現場における指摘・是正事項
【コア、フィルター敷き および ロック敷き（河床部）】
- No.15+8、DC+48付近でロック材の転圧ができない亀裂が存在した。
  亀裂をコンクリート等で充填するか、ブレーカー等で盛立ができる程度に岩盤の整形を行うこと。

- No.15+8、DC+42付近でロック材の転圧ができない亀裂が存在した。また内部には土砂が堆積していたことから、土砂を除去し、水洗いを行った上で亀裂をコンクリート等で充填するか、ブレーカー等で盛立ができる程度に岩盤の整形を行うこと。

- No.15+1、DC+11 付近で空洞が見られたため、コンクリートで充填を行うこと。

・No.13+5,DC+11付近において、閉塞の確認ができないボーリング孔が見られた。水洗いを行い、閉塞されているか確認すること。閉塞されていない場合は確実に閉塞すること。

・No.12+15、DC+10付近で亀裂が存在した。
亀裂をコンクリート等で充填するか、ブレーカー等で盛立ができる程度に岩盤の整形を行うこと。

【ロック敷き（右岸上流部）】
・No.3+2、DC-108付近で浮石が見られたため、盛立前に除去すること。

・F-14断層付近に土砂がたまっていたため、盛立前に除去すること。

・F-H断層沿いの高標高部に一部根が存在したため、盛立前に除去すること。

・No.4+15、DC-75付近で浮石が見られたため、盛立前に除去すること。

・No.5+15～No.6+5 までの区間において浮石と土砂の堆積が見られたため、盛立前に除去すること。

〇その他の意見
・本日確認した岩盤については地質・岩級共に適切に評価されており、当該規模・形式のダム基礎となりうる岩盤であると考えられる。（ダム技術センター）

＜地盤検査官のコメント＞
前回の指摘事項については、写真等により是正状況の確認ができた。
現場については所定の岩盤であり、設計上必要な強度を有していることが確認できた。
右岸上流部の岩盤は風化しやすい状況にあるため、盛立直前に指摘事項の対応を行うこと。また、河床部についても指摘のあった内容については、適切に対応すること。

以上